

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	工業英語	
科目基礎情報							
科目番号	151411			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	環境材料工学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	配配布資料、参考書1：エンジニアのための英語プレゼンテーション超克服テキスト平井 通宏オーム社;参考書2：必携技術英文の書き方55のルール片岡 英樹創元社;参考書3: 50の構文でわかる技術英語の書き方上田 秀樹工業調査会						
担当教員	王 森レイ						
到達目標							
1. 技術文書における英語表現を知り、英文技術文書の読解および執筆に役立てることができる。 2. 技術英語のリスニングスキルを身につけ、最新技術を紹介するプレゼンテーションや講演の内容を理解できる。 3. 英語でのプレゼンテーションに必要な表現を身に付け、英語で最新の技術について発表を行うことができる。 4. 技術者等が英語を修得することの必要性を理解し、継続的に学習を行うことができる。 4. 特許の読解と作文ができること							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標1	英文技術文章の80%以上を理解できる		英文技術文章の60%以上を理解できる		英文技術文章の60%を理解できない。		
到達目標2	英語のプレゼンテーションや講演の内容を60%以上理解できる。		英語のプレゼンテーションや講演の内容を理解できる。		英語のプレゼンテーションや講演の内容を理解できない。		
到達目標3	最近注目される技術について流暢な英語で分かりやすい発表できる。		最近注目される技術について英語で分かりやすい発表できる。		最近注目される技術について英語で発表できない。		
到達目標4	独自で最新の技術を調査した上でレポートを高い完成度で仕上げることができる。		独自で最新の技術を調査した上でレポートを仕上げることができる。		最新技術の調査ができない。		
学科の到達目標項目との関係							
コミュニケーション能力 (E)							
教育方法等							
概要	英文技術文書の書き方、技術英語の表現、技術文書に頻出する英単語などを学習する。また、英文技術文書の読解演習、リスニング演習、英語プレゼンテーションの実践 などを行う。						
授業の進め方・方法	授業では、技術英語と一般英語との相違点を取り上げ、その特徴及び学習方法について説明する。最新の技術に関わる英文のニュース、文献、特許などから技術文書に頻出する単語、熟語の使い方を学習する。また、最新の技術に関する国際会議発表や講演のビデオを見ることで、リスニングとプレゼンテーションのスキルを勉強する。更に、学生が独自で最新の技術を調査し、英語で発表することでプレゼンテーション能力を高めることを期待する。						
注意点	小演習を行うので十分な準備をして授業に臨むこと。知らない単語をGoogleで検索することができるが、自動翻訳ソフトを用いて文章を翻訳することが禁止される。授業中の私語等、他人の迷惑となる行為は慎むこと。						
本科目の区分							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス／プレゼンテーションの方法／プレゼンテーションの英語表現		1,2,3		
		2週	技術英語とは何か、その特徴と学習法		1		
		3週	技術英文を正しく書くためには		1,4		
		4週	よく使われる技術英語		1,4		
		5週	工業英文の頻出動詞part1及び数式		1,4		
		6週	工業英文の頻出動詞part2及び数式		1,4		
		7週	中間試験期間				
		8週	リスニング勉強法と演習 1		1,4		
	2ndQ	9週	リスニング勉強法と演習 2		1,4		
		10週	英文技術文書の読解演習技術		1,2		
		11週	プレゼンテーション実習の事前指導		1,2		
		12週	プレゼンテーション実習1		1,2		
		13週	プレゼンテーション実習2		1,2,3		
		14週	プレゼンテーション実習3		1,2,3		
		15週	期末試験				
		16週	試験返却、振り返り		1,2,3		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	レポート	レポート	プレゼンテーション	合計		
総合評価割合	30	20	20	30	100		
基礎的能力	15	10	10	15	50		
専門的能力	15	10	10	15	50		

分野横断的能力	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---